

第1回長野県社会福祉審議会子育て支援専門分科会でいただいた意見への対応（案）

委員	意見	分科会での回答（あれば）	対応案
金山会長	第二期長野県子ども・子育て支援事業支援計画（R5実績）のうち、ファミリー・サポート・センター及び放課後児童クラブについて、提供体制が需要を下回っている。 提供会員の高齢化や就業会員の好転等で、全国的に提供会員が不足している状況となっている。 処遇改善支援やリクルート対策等を行っている自治体もあるため、そういった好事例等を共有できるとよい。 放課後児童クラブの支援員の研修等については有難い。 支援の質を担保する意味でフォローアップ研修が実施できたらよい。	提供会員のなり手が少ないとの指摘がある。 長野県として市町村へ利用を促すよう取り組んでいるところ。 フォローアップ研修は実施していない。他の自治体の状況を確認し、今後の実施について検討していきたい。	ファミリー・サポート・センター及び放課後児童クラブについては、市町村における量の見込と提供体制の確保状況を踏まえ、提供体制の充実に向けた県としての支援策を計画において記載します。 教育・保育及び地域子育て支援事業の従事者への研修については、現状を踏まえ更に充実が図られるよう計画に記載します。
和田委員	放課後児童クラブについては、定員超過で利用できないような事態があり、場所（施設）が足りないと聞いている。 ファミリー・サポート・センターの提供会員の研修について、受講できる期間や場所が限られているため、研修受講できる機会や場所が増えるとうい。	施設整備を進めようとする市町村がある。 空き教室の利用を教育委員会に提案しているところだが、福祉と教育の間で施設管理の問題があり、上手くいっていない状況。 研修については、実施主体が市町村になるため、今後頂いた意見を参考としていきたい。	市町村が利用見込から新たに放課後児童クラブの施設整備を行う場合には、引き続き県としても必要な支援を行います。 ファミリー・サポート・センターの提供会員の研修については、現在県で実施している子育て支援員研修の充実を図るなどにより対応します。
内保委員	基本目標について、数値上は達成されていると判断できるが、数字では見えない内実の細かな課題等ほどの程度集約されているのか。次の計画策定に際して、より議論を深めることができるのではないか。 例えばやまほいくはどうか。	やまほいくは定量的には達成。 研修会や交流会等を行っており、課題感はすぐには思いつかない。 やまほいく以外の園の皆さんにも研修会は好評。認定園は増えている。	基本目標に掲げる達成目標については、設定する目標について十分検討するとともに、毎年の進捗管理を行う際に、数字だけでは把握しきれない実態等についてもできる限り分析していくこととします。
宮下委員	保育士の状況について、3号認定の提供体制が不足している。 保育士確保については、潜在保育士の掘り起し等していただいて有難いが、現場においては、未満児の入所希望に対して答えられておらず、幼児の先生が未満児も見て余裕がない状況。 量の確保に取り組んでいただいており、今後は質の向上にも取り組んでいただきたい。	－（特に回答せず）	今後は、これまで取り組んできた潜在保育士の掘り起こしに加え、現在教育・保育等に従事している保育士の離職防止・定着が図られるよう、処遇改善に加え、保育士の負担軽減や風通しのよい職場などの環境改善も力を入れていきます。これにより、保育士が継続的に経験を積むことにより、資質向上につながると思われます。

※上記意見は、計画に関するもののみ抽出したもの